

- 横浜市新市庁舎



- 2020年1月竣工予定

- 概要

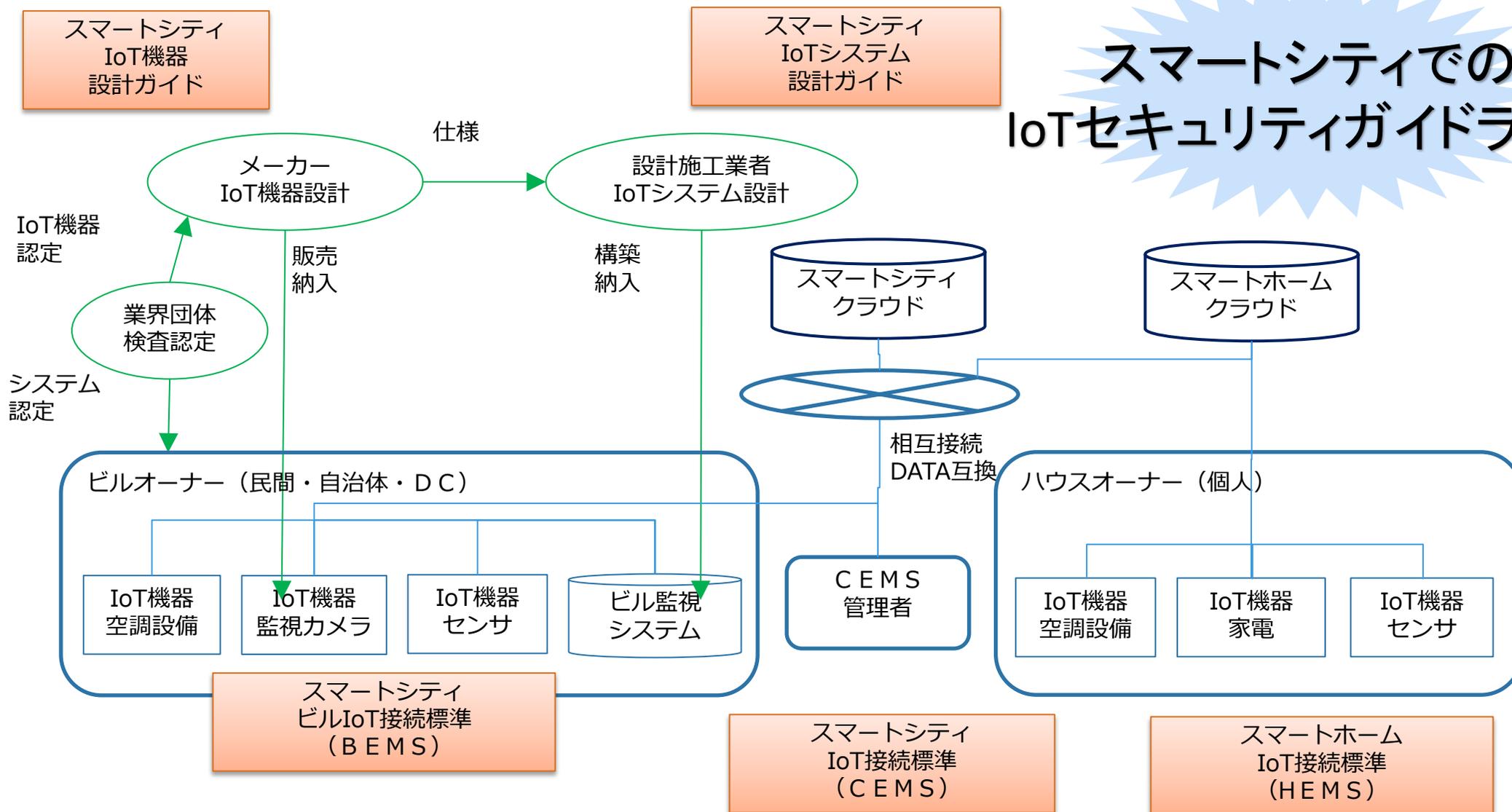
- 地上32階/地下2階
- 敷地:13,486m² 延床:140,700m²
- 議会棟、行政棟、市民利用・商業

- 設備

- サーバー室
- 危機管理室
- 非常用発電設備
- 太陽光発電設備
- 燃料電池設備
- DHC/コージェネレーション
- 個別空調・照明制御
- 監視カメラ、入退出管理
- マルチサイン/サイネージ
- クラウド型BEMS/デマンドレスポンス

IoTスマートシティの実現に向けて

スマートシティでのIoTセキュリティガイドライン



1. 日本国内
2. 港湾都市・輸出入の玄関
3. 欧州の認証・検査会社が数多く立地
TUV、DNV、SGS、ビューロベリタス
LRQA、UL、JET、JQA
4. 自動車・輸送機器・電子部品の部品
メーカーが多数
5. 製造業(約6000社)とIT企業(約3000
社)の集積
6. 世界的なIC(ARM、ROHM)、電子部
品、組込製造業者が新横浜に集積
7. IoT・セキュリティの大学が集積
情報セキュリティ大学院大学、
横浜国大、慶應義塾大、横浜市大
8. 374万人の社会実験・宅内実験がし
やすい都市インフラ・住民協力
9. SDGs未来都市に選定
(自治体SDGsモデル事業)
10. 職員4万人の市業務でIoT機器を
導入・活用
新市庁舎、道路、交通(鉄道、バス、
新交通)、水道、下水道、清掃工場、